

牧草と園藝

第十三卷・第三号

昭和二十八年五月十五日第三種郵便物認可
昭和四十年三月一日(毎月一回)日発行



雪印種苗株式会社

牧草の大量要素欠乏症

(VI) 牧草の硫黄欠乏

石塚喜明*

原田 勇**

林 満***

Red Clover (赤クロバー)・Alfalfa (ルーサン)

欠乏症状は生育中期に生ずる新葉が黄緑色かまたは黄色となって出現する。欠乏症状を呈した葉は一見窒素欠乏症と類似した症状を呈する。しかし、窒素欠乏症が個体全体に一樣に黄緑色を呈するに反し、硫黄欠乏症の場合は個体の中に黄緑色を呈した葉（一般に下部葉）と緑色の葉（一般に上部葉）が存在することが特徴的である。欠乏症状を呈した葉が出現すると草丈の伸長、分けつは止まり、葉の出現も遅く、完全なものに比して収量はいちじるしく低い。

我が国の一般土壌には10a当30~50kgの硫黄を含有し、吸収量から考えても土壌中に硫黄が不足することはなく、草地における硫黄欠乏はほとんど見られない。とくに硫安、硫加のごとき化学肥料を施与してきている現在では欠乏症出現の心配はほとんどない。

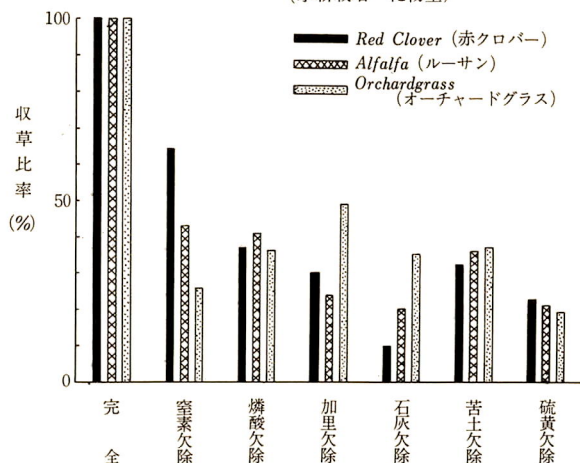


写真 手の中上が完全葉下2枚が欠乏葉



写真 手の中の葉が完全葉
左上、下が欠乏葉

完全区を100としたときの各欠乏区の収量比率
(水耕栽培・乾物重)



* 北海道大学農学部土壌肥科学教室
教授
** 酪農大学助教授
*** 北海道農業試験場草地開発部
技官